

《現場紹介》

富士北麓流域下水道

富士北麓3号幹線

推進3工区建設工事

関東支店 工事課 池田 和巳

地元住民様の応援を受けて

当現場の位置する富士吉田市は山梨県の南東部、日本一の標高3776mと美しさを誇る富士山の北麓に位置し、海拔750mの古くから富士山信仰の町として栄えた高原都市です。今回の施工は、富士北麓流域下水道富士北麓3号幹線、最後の工区となります。

施工場所は隣接地として、高速道東富士五湖道路、富士急ハイランド、富士河口湖高校に面しており推進ルートとしては、道路中4.0～4.5mの生活道路(埋設物としてはガス管φ150、水道管φ100)直下土かぶり6.0～8.0mの位置になり、掘削対象土層は、玄武岩及び砂礫(スコリア)となっております。φ400推進管をエースモール工法にて5スパン(延長530m)推進する工事です。

交通量は、富士河口湖高校の送迎車及び抜け道としての役割が強く、道路中の割には多い道路です。当初設計において、地権者のご協力得て、切回し仮設道路を施工し立坑を築造し、推進作業ヤードを作り推進工事を施工することになっておりました。当作業所といたしましては、近隣住民生活道路及び富士河口湖高校生徒通学路の形態を変更するに当り、どのようにご協力いただけるか考えた結果、富士河口湖高校美術部顧問新田教諭(現在塩山高校)に相談し、地域との「つながり」をテーマにしたモチーフを富士河口湖高校美術部の方々から描いていただけることとなり、切回し仮設道路に掲示することとなりました。工事着手3月7日より現在まで交通事故もなく工事を遂行しております。こ

れも、近隣住民及び富士河口湖高校生徒皆様のおかげと、この紙上で御礼申し上げます。

当現場、現在推進完了に伴い、人孔築造及び埋戻の工事を施工中です。10月中には、現道復旧工事に着手し11月には工事完了予定です。暑い時期での推進でしたがトラブルなしで3ヶ月半というスピードで530m貫通させていただきました。残り3ヶ月の工事となりますが、無事故無災害で工事を完了させる所存です。

工事区画と工事内容(推進)の概要



現場事務所より富士山を仰ぐ



推進マシン投入状況

【工事概要】(敬称略)

工事場所: 山梨県富士吉田市新倉

発注者: 山梨県流域下水道事務所

元請会社: 株式会社大森工務所

工事内容: (1) 推進延長 φ400泥土圧方式 L=533.4m

(2) 発進立坑…3箇所 到達立坑…3箇所

(3) 人孔 4箇所

(4) 付帯工 一式



富士河口湖高校美術部作品